

里都まち魅力創生拠点整備プロジェクト

1. 里都まち交流拠点グランドオープン

昨年3月に「なかい里都まちC A F E」を中央公園内に整備し、同年5月21日（日）にプレオープンとなり、プレオープニングイベントを開催した。

その後、なかい里都まちC A F Eの外周に「里都まちガーデン」の整備を進め本年3月に完成し、同年6月16日（土）になかい里都まちC A F Eと里都まちガーデンを含めた「里都まち交流拠点」がグランドオープンとなり、グランドオープニングイベントを開催した。

グランドオープニングイベントでは次のような催しを開催し、約2,400人の来場者があった。（プレオープニングイベントの来場者数は約1,800人）

◆バルーンリリースを実施

町主催のグランドオープン記念式典の中で、里都まちミニパークにおいて来場者全員でバルーンリリースを行った。

◆ピザ釜とかまどを使ったピザの販売とたけのこご飯作りの実演

里都まちキッチンに整備した直径約2mのピザ釜で焼いたピザを販売した。（約300枚が完売）

また、同じく里都まちキッチンに整備したかまどを使ったたけのこご飯作りの実演を行った。

◆「なか110（いいまる）ごとマルシェ」の開催

町内で活動する民間グループを中心に実行委員会を立ち上げ、マルシェを開催した。本年4月1日になかい誕生110年を迎えたこともあり、「なか110 ごとマルシェ」と名付け、次のイベントを実施した。

- ・アスファルト駐車場部分において、キッチンカー、ハンドメイドの物販、ワークショップなど合計で21店舗が出店した。
- ・ウッドデッキとインターロッキングブロック舗装部分において、歌、音楽演奏、ダンス、パフォーマンスで9グループが出演した。



2. 里都まちガーデンの貸出

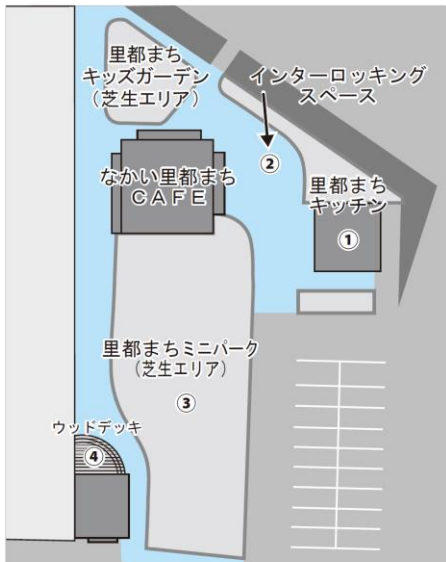
なかい里都まちC A F Eについては、昨年7月より施設の貸出を開始し、ワークショップや講習会の開催など年間約40件の施設利用があった。

外周に整備した里都まちガーデンについても、施設の貸出を開始した。

※芝生エリアやウッドデッキについては、イベント等により専用しなければ利用は自由。

貸出施設および利用料金				
	非営利		営 利	
	平日・土曜	日曜・祝日	平日・土曜	日曜・祝日
①里都まちキッチン ※薪代は別途	3,000円	5,000円	7,000円	10,000円
②インターロッキング スペース			3,000円	3,000円
③里都まちミニパーク (芝生エリア)	利用方法により決定します。 詳しくは、なかい里都まちCAFEにご確認ください。			
④ウッドデッキ				

※「里都まちキッチン」は、1 枠3.5時間単位の料金です。
※「インターロッキングスペース」は、1 日単位の料金です。



利用実績・予定

■里都まちキッチン

- ・町民、民間グループ、地元企業などによりオリジナルピザ作りで活用。
- ・商工振興会主催の里山なかい市でピザ釜で焼いたピザを提供。
- ・地元のパン屋によるピザ作り教室を開催。

■芝生エリア

- ・ヨガ教室の開催を検討している。

■アスファルト駐車場

- ・民間グループによるマルシェ開催を検討している。



◎里都まち交流拠点全体で夜間・野外の食事会を開催。ピザの食べ放題、流しそうめん、バンド演奏などにより、100名を超える来場があった。



3. 里都まち交流拠点の周知

次の取組みを行うことで、里都まち交流拠点の認知度アップと利用促進を図った。

- 「町広報」「町ホームページ」「フェイスブック」「ツイッター」「魅力創生ニュース」にて施設概要、グラウンドオープニングイベント、施設の利用（貸出）方法を紹介。
- なかい里都まちC A F E、中井町商工振興会のホームページで紹介。
- 竣工記念兼P R用パンフレットを作成し、町内施設等で配付。今後、イベント出展時などでも配布する。
- テレビ放送、新聞・情報誌に掲載。

4. 里都まち魅力創生拠点整備プロジェクトの目標と成果

＜町内外や世代を問わない交流の場の創出（交流人口増加）＞
なかい里都まちC A F Eを活用したイベントや里都まちキッチンでのピザ作り体験などにより、交流の機会が増加。なかい里都まちC A F Eの客数は月平均 1,200 人ほどであるが、会計数によるカウントであるため、商品を購入していない方や団体での利用などを考えると、倍以上の利用者数も考えられる。
＜中井中央公園利用者の憩いの場の創出＞
野球場や多目的グラウンドでスポーツをした後、パークゴルフをした後、広場で遊んだ後など、来園者が一息つきたいときに食事をしたり休憩する場所として利用されている。
＜地域経済の活性化＞
食事・ドリンク・デザートを提供、町で開発を進め認証したブランド特産品や手作りのアクセサリーなどの販売により、今では月平均 100 万円を超える売上を記録している。
＜地域活動の拠点創出＞
施設を使って自治会の交流会を実施するなど、地域住民が触れ合う場を提供している。
＜新たな雇用機会の創出＞
なかい里都まちC A F Eの物販コーナーができたことにより、初めて自身で作った商品を販売している方が 7 名いる。シェフも現場復帰することになった。また、主婦層がスタッフとして勤務している。
＜町の認知度の向上＞
昨年度一年間でメディアから合計 20 回の取材を受けている。テレビ放送や雑誌などを見て訪れたという来園者も増え、その結果が来客数の増加にも繋がっている。
＜町の情報発信の拠点創出＞
町のイベント情報、観光パンフレット、ブランドブックなどを設置。町外の方が多く訪れる中井中央公園内で情報発信を行うことで、町外向けのP Rに繋がっている。また、なかい里都まちC A F Eのホームページやフェイスブックができたことで、情報発信の媒体が増えた。

5. 今後の課題・対策

○施設の認知度アップ

町民でも里都まち交流拠点を知らない方がまだまだいるという指摘もある。引き続き各種媒体を活用して、情報発信に努める。また、町の事業をなるべく里都まち交流拠点を使って実施したり、イベント等の機会にはパンフレットを配布するなどして、積極的にPRを行う。担当課だけではなく、町職員全員が里都まち交流拠点の認知度アップを意識する。（7月21日から9月24日までの間で実施した「リアル宝探し」の宝箱発見報告所をなかい里都まちCAFÉに設定し、1,000人以上の参加者を記録した。加えて、県と連携し「駅メモ」のデジタルスタンプラリーの駅として、なかい里都まちCAFÉを登録することで認知度向上を図った。）

魅力的な取組みを展開していくことで、プラスイメージの口コミを増やしていく。各種メディアには積極的にアピールして、取り上げてもらう努力をする。

○「協力会」を通してのアイデア出し

商工振興会役員、なかい里都まちCAFÉのスタッフ、中井中央公園指定管理者、里やま直売所スタッフを中心に「協力会」を開催している。会の中で、情報の共有を図ったり、利用者増のためのアイデア出しなどを行っている。その成果として、パークゴルフ場利用者のなかい里都まちCAFÉ利用時の割引などが実現している。

引き続き、定期的に協力会を開催することで、連携して魅力向上に努める。

○里都まちガーデンの活用

なかい里都まちCAFÉについては、プレオープンしてから利用者の声を聞きながら改善を繰り返し、施設貸出によるイベントの創出もあって利用者数が増えたが、新たにできた里都まちガーデンも含めてどれだけ利用者数を増やせるかが課題となる。特に、体験型施設である里都まちキッチンをいかに使っていただくかが重要。

○自走化

当プロジェクトは、地方創生事業として国の交付金を活用しながら進めてきた。地方創生の目的に沿うと、立ち上げは行政の力が必要であるが、民間の力を活用しながら進め、最終的には民間の力で自走化していける体制の構築が必要である。

官民連携・協働という視点も重要ではあるが、新しい人材やグループの発掘を行い、民間の力だけで推進していけるように行政が徐々にフェードアウトしていけるかが課題。